



ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会

会長 佐藤晴登

第二十五回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに作品を応募された皆さんに、心からお礼申し上げます。

また、入賞された皆さん、本当におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

今回は、県内の小・中学校から作文部門において二九九点、また図画部門において八一五点の力作が寄せられました。これらは、学校の先生方をはじめ、関係する方々の深いご理解の賜と感謝申し上げます。

私どもJAGグループは、次代を担う小・中学生の皆さんに、主食であるお米の大切さを認識してもらうとともに、食料・農業・農村に対する理解を一層深めてもらうことを目的として、このコンクールを実施してから、今年度で二十五回を迎えることとなりました。

最近の我が国における食生活は、食習慣の乱れや栄養バランスの偏り、食料自給率の低下等の問題が生じております。

このため、食生活の改善や国民の健康増進、生活の質の向上をはかるため、国は「食生活指針」を示

し、日本型食生活を推進することとしております。

その中心になるお米には、体をつくる栄養分が多く含まれており、朝ごはんをきちんととることが勉強や運動するには大切です。皆さんも、ごはんをゆつくり、楽しく食べて、いつも健康で元気に過ごしましょう。

今回、入賞されました皆さんの作品には、農作業する姿、おにぎりを食べている姿、ごはん・稲作を通じ、家族との暖かい交流など、自分自身の体験を通じて感じた気持ちや素直に、いきいきと表現されています。

これからも美しい自然を大切にする心、家族を大切にする心を育んでいただくことを期待しております。

最後に、審査員の先生方をはじめ、小学校・中学校の先生方、ご父兄の皆さん、県ならびに各JAのご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、このコンクールをますます発展させていただきますようお願い申し上げます。